

阿久比町農業委員会委員を追加募集

阿久比町農業委員会委員に欠員が生じたため、農業委員会委員の追加募集を行います。

- **募集人数** 1名
- **任期** 任命日(辞令交付日)～令和8年7月19日
- **募集要件** 以下のいずれかに該当する場合は委員となることはできません。
 - ▽令和6年1月1日現在で満20歳に満たない方
 - ▽法令により兼職が禁止されている方その他公務遂行上適当と認められない方
 - ▽暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律に規定する暴力団若しくは暴力団員またはこれらと密接な関係を有する方
 - ▽破産手続開始の決定を受けて復権を得ない方
 - ▽禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたはその執行を受けることがなくなるまでの方

■ **応募方法**
 推薦書または応募申込書に必要な事項を記入し、次の添付書類を添えて、産業観光課農政係へ持参または郵送してください。

- **添付書類**
 - ▽推薦を受ける方または応募する方の住民票(発行後3カ月以内)
 - ▽推薦を受ける方または応募する方が認定農業者である場合または所属する法人が認定農業者である場合は、認定農業者証などの認定農業者であることを証明する書類の写し

※ 推薦および募集要領、推薦書、応募申込書は11月15日(水)～12月15日(金)まで産業観光課で配布します。また、町ホームページからもダウンロードできます。

■ **受付期間** 11月15日(水)～12月15日(金)(平日の午前8時30分～午後5時15分)
 ※ 郵送の場合は12月15日(金)必着

■ **報酬** 委員(月額)15,500円
 ※ 別途、活動実績に応じた報酬(年額)有り

シリーズ 消費生活相談①60

不安をあまり契約させるリフォーム工事の点検商法

- **相談事例**
 「近くで屋根工事をしていたら、お宅の瓦が傷んでいるようなので点検したい」と業者が訪問してきた。点検後、撮影した瓦の映像を見せられ、「損傷がひどく雨漏りするかもしれない。すぐに工事をしたほうがいい」と言われた。迷っていると、「たまたま今日この地域に来ているので今でないと契約できない」と急かされ、約40万円の契約をした。不安になって、やめたいと連絡したが、「もうキャンセルはできない」と怒鳴られた。(70歳代女性)
- **被害を防ぐアドバイス**
 - ・住宅リフォーム工事などの勧誘が目的ということを告げずに点検をし、不安をあまり契約を急かす「点検商法」のトラブルが後を絶ちません。家族や周囲の人も高齢者の様子に気を配りましょう。
 - ・「点検させてほしい」と訪問してくる業者には対応しないようにしてください。
 - ・点検を依頼した場合でも、結果をうのみにせず、冷静に受け止めることが大切です。別の専門家などに確認して、複数の見積りを取るなどして、決してその場で契約しないようにしてください。
 - ・法定の契約書面を受け取ってから8日以内であるなどの場合はクーリング・オフを行うことができます。

◎ **知多半田消費生活センターでは消費生活相談を行っています。**
 ■ **日にち** 月曜日～金曜日(祝日、第4水曜日、年末年始(12月29日～1月4日)を除く)
 ■ **時間** 来所相談：午前9時30分～午前11時 午後1時30分～午後3時30分
 電話相談：午前9時30分～午後4時
 ※ 来所相談の場合もまずは電話で確認をお願いします。
 ■ **問い合わせ先** 知多半田消費生活センター(クラシティ3階市民交流センター内) ☎(32)2444

- **主な業務**
 - ▽毎月の農業委員会総会、各種会議、研修会への出席
 - ▽農地法に係る農地の権利移動、農地転用等の農業委員会の権限に係る許可などの審議、承認
 - ▽現場活動(農地の巡視、遊休農地対策業務、農地利用の最適化推進活動など)
 - ▽地域計画の策定に向けた地域での話し合い

■ **選考方法**
 応募・推薦のあった方(委員候補者)は、阿久比町農業委員会の委員候補者選考会にて選考し、阿久比町議会の同意を得て、町長が農業委員会委員に任命します。
 ※ 必要に応じて、それぞれの選考に際し、面接などを実施する場合があります。

■ **選考結果**
 結果については、委員候補者全員に文書で通知します。

■ **応募状況の公表**
 推薦書および応募申込書に記載された事項であって、法令などで定められた公表事項は、全て公

表となりますのでご承知ください。(推薦者・被推薦者または応募者の住所・連絡先を除く事項)

■ **問い合わせ先**
 産業観光課農政係
 ☎(48)1111(内1222)

今月号の表紙

阿久比町制70周年記念事業の「田んぼアート」の稲刈りが、10月22日に役場南側の水田で行われました。6月の田植えから稲は順調に成長し、実りの秋を迎えました。参加者は黄金色に輝く稲穂に囲まれながら、収穫を楽しんでいました。

■ **編集後記** 食欲の秋。食べ物の魅力がより一層増す季節になりました。甘いものに目がない私は、イモ、栗、カボチャなどを使ったスイーツの誘惑にはつつい負けてしまいます。「腹十二分目」になりがちな時期ですが、「甘い誘惑」に負けず、どうか食べ過ぎを防ぎたいものです。

